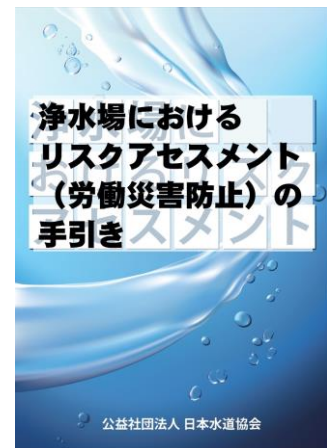


新刊紹介

浄水場におけるリスクアセスメント(労働災害防止)の手引き

特徴

- 浄水場におけるリスクアセスメントの実施手順を、図表や例を示して、わかりやすく解説しています。
- 浄水場での作業項目及びリスクの低減措置例等を 486 件掲載しており、これらを参考にして、リスクアセスメントの導入を円滑に進めることができます。



掲載内容

第1章 手引きの活用にあたって

第1章では、リスクアセスメントとはなにか、**法令上の位置づけ***はどうか、といった基本事項の解説に加え、本手引きの活用方法を記述しました。

(*:リスクアセスメントの実施は、平成18年4月から労働安全衛生法で努力義務が課せられています。)

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| (1) 水道事業等における安全衛生管理 | (2) 水道事業等を取り巻く環境の変化 |
| (3) リスクアセスメントの必要性 | (4) リスクアセスメントとは |
| (5) 労働災害の発生状況とリスクアセスメントの導入状況 | (6) リスクアセスメントの労働安全衛生法上の位置づけ |
| (7) 化学物質のリスクアセスメントの義務化 | (8) 本書活用のポイント |

第2章 リスクアセスメント

第2章では、全業種に共通する法令の定めるリスクアセスメントをわかりやすく記述しました。

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| (1) 危険性又は有害性の調査等に関する指針 | (2) リスクアセスメントの目的と効果 |
| (3) リスクアセスメントの導入と実施 | (4) リスクアセスメント実施の考え方 |
| (5) 化学物質のリスクアセスメント実施の考え方 | |

第3章 浄水場におけるリスクアセスメント

第3章では、浄水場において実施するリスクアセスメントの具体的な手順を、図表を交えて解説しました。

- | | |
|------------|--------------------|
| (1) 標準例の活用 | (2) リスクアセスメントの実施方法 |
|------------|--------------------|

第4章 重点10項目のリスク低減措置例

第4章では、水道事業体において発生頻度の高い「はさまれ・巻き込まれ」、「墜落・転落」、「転倒」など10項目を重点的に、リスクの低減措置をイラスト入りで解説しました。

別表 浄水場におけるリスクアセスメント標準例

別表では、既にリスクアセスメントを実施している事業体の作業手順書等から486件の作業項目を抽出し、それぞれに危険・有害性と発生のおそれがある災害の内容、リスクの見積り、リスクの低減措置例を掲載しました。

発行 平成30年9月
一般定価 3,750円(税別)
会員価格 3,000円(税別)

購入・
問合せ先

株式会社 協友 (日本水道協会 図書販売業務委託先)
〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-9 日本水道会館3階
TEL 03(3264)2826 FAX 03(5210)2216
◆購入に際しては、日本水道協会ホームページ(<http://www.jwwa.or.jp>)をご覧ください。ホームページ内「出版物のご案内」→「発行図書目録」→「本協会発行図書の購入方法について」を参照ください。